

お客様各位

2021年2月26日

株式会社 HIRANUMA

品質保証部

TEL: 029-247-6119

FAX: 029-240-0881

発生液アクアライト RS-A と GRO-A について

微量水分測定装置に使用する発生液アクアライト RS-A と GRO-A について、ラベルに記載される水分規格値が 100 ppm 以下から 200 ppm 以下に変更となりました。なお、試薬の製造方法と組成に変更はありません。使用方法や性能等もこれまでと同様にお使いいただけます。

パーツ No.	品名
D327660-A02, A12	アクアライト RS-A
D311173-A02, A12	アクアライト GRO-A

変更理由

背景として、発生液に含まれるよう化物イオンには光や空気などの影響で自然によう素を生成する性質があります。発生液中においても組成と完成時の pH 値および水分量のバランスにより、保管中によう素を生成することがあります。よう素はカールフィッシャー反応により瓶内に残った水分と反応するため、図 1 に例示するように保管中に水分量が徐々に減少していきます。

微量水分測定装置は、まずブランク消去操作によってセルの中が無水化されたのちに測定を行います。よって瓶に保存された発生液の水分量は測定に影響を与えません。水分量が低い方がブランク消去が短時間で済むため好ましいものとなりますが、一方で上記のよう化物イオンの性質により、まれに過量のよう素が生成して発生液の色が褐色に変わることがあります。これを防止するため従来より、発生液の組成と完成時の pH を調整すると同時に、完成時の水分含有量 100 ppm を目標値として製造しておりますが、現状として未開封でも水分量 100 ppm 以上の状態でお客様のお手元に届く可能性があるため、ラベルの水分規格値を 200 ppm に変更いたしました。試薬の製造方法と組成に変更はありません。また発生液に含まれる水分は測定前にブランク消去によって無水化されるものであり、使用方法や性能等に変更はなくこれまで同様にお使いいただけます。

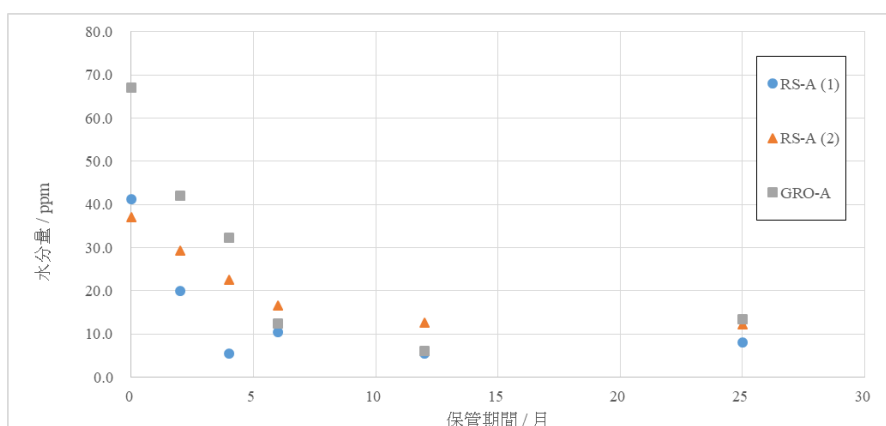


図 1 弊社実験室試薬棚に保管した発生液の水分量と保管期間